TOKYOに、つくそう。

東京きらぼしフィナンシャルグループ
「お客さま本位の業務運営」
2025年度の取組状況

2026年6月

東京きらぼしフィナンシャルグループ

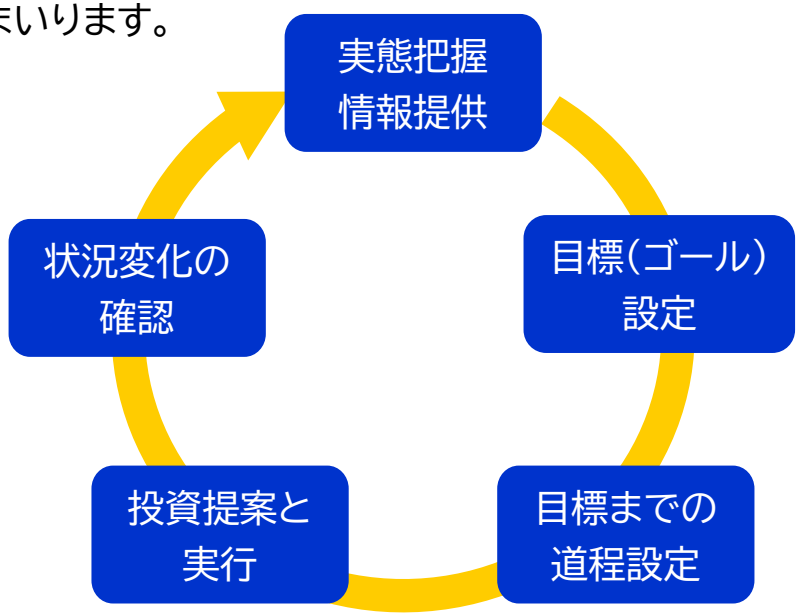
東京きらぼしフィナンシャルグループのお客さま本位の業務運営

東京きらぼしフィナンシャルグループは、「首都圏における中小企業と個人のお客さまのための金融グループとして、総合金融サービスを通じて、地域社会の発展に貢献します。」という経営理念のもと、お客さまのために何ができるのかを真剣に考えてまいります。

きらぼし銀行 × きらぼしライフデザイン証券 × Wi Bank

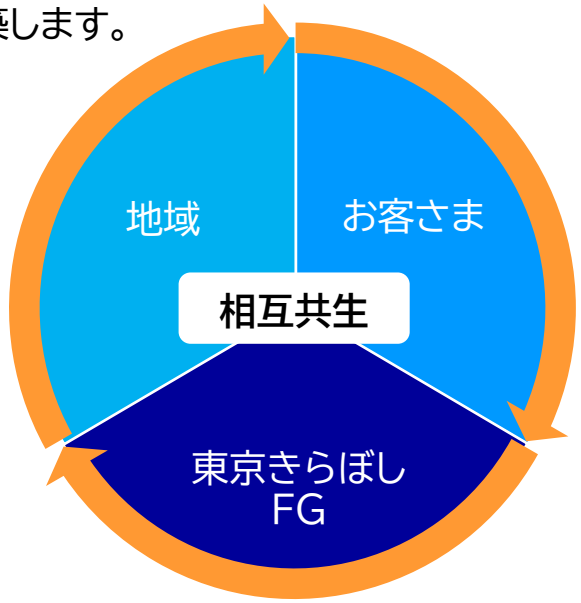
目標の実現に向けた循環プロセス

お客さまのライフプランやニーズ、将来の夢を丁寧に伺った上で最終目標(ゴール)実現の為の提案を行ってまいります。



最善の利益の追求

「お客さまの最善の利益＝お客さまが目指すゴールをともに実現すること」とし、その実践で「三方よし」の関係を構築します。



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

東京きらぼしフィナンシャルグループのお客さま本位の業務運営取組状況

■東京きらぼしフィナンシャルグループでは、「お客さま本位の業務運営」を徹底するため、グループ共通の指針となる「東京きらぼしフィナンシャルグループのお客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定・公表しております。
■本資料では東京きらぼしフィナンシャルグループの「2025年度 取組状況」をお知らせいたします。

本取組方針に基づく取組を実践するグループ会社：株式会社きらぼし銀行、きらぼしライフデザイン証券株式会社、株式会社UI銀行

	取組内容	対応原則	ページ
1	**お客さまのニーズ・ライフステージに寄り添った商品・サービスの提供** ・きらぼし銀行・UI銀行ときらぼしライフデザイン証券の連携　・プロダクト・ガバナンス体制の構築 ・ライフステージや目的に合わせた商品提案　・お客さまへのわかりやすい情報提供 ・手数料の明確化　・手続き時間の短縮化・お客さまの利便性向上 ・お客さま向けセミナー・個別相談会、金融教育講座の開催 ・デジタルコンテンツによる商品・サービスのご提供	・原則2,4,5,6 ・補充原則	P.6～P.16
2	**お客さまに満足いただける商品ラインナップの整備** ・ラインナップの整備 ・比較可能な共通KPI：【投資信託】残高上位20ファンドのコスト・リターン／リスク・リターン ・比較可能な共通KPI：【保険】外貨建保険の残高上位20銘柄のコスト・リターン	・原則6 ・補充原則	P.17～P.20
3	**お客さまの満足度向上に向けた取組** ・お客さまに対する入念なアフターフォローの実施　・お客さまアンケート調査の実施	・原則6	P.21～P.22
4	**最良の金融サービスの提供を意識した情報開示** ・グループ会社における販売状況と利益相反の適切な管理　・比較可能な共通KPI：運用損益別顧客比率	・原則3	P.23～P.24
5	**お客さま本位の業務運営の定着化を目指した企業文化の醸成** ・人材育成	・原則2,7	P.25

©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

〈参考〉 金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」

	原則	概要
1	顧客本位の業務運営に関する方針の策定・公表等	金融事業者は、顧客本位の業務運営を実現するための明確な方針を策定・公表するとともに、当該方針に係る取組状況を定期的に公表すべきである。当該方針は、より良い業務運営を実現するため、定期的に見直されるべきである。
2	顧客の最善の利益の追求	金融事業者は、高度の専門性と職業倫理を保持し、顧客に対して誠実・公正に業務を行い、顧客の最善の利益を図るべきである。金融事業者は、こうした業務運営が企業文化として定着するよう努めるべきである。
3	利益相反の適切な管理	金融事業者は、取引における顧客との利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性がある場合には、当該利益相反を適切に管理すべきである。金融事業者は、そのための具体的な対応方針をあらかじめ策定すべきである。
4	手数料等の明確化	金融事業者は、名目を問わず、顧客が負担する手数料その他の費用の詳細を、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、顧客が理解できるよう情報提供すべきである。
5	重要な情報の分かりやすい提供	金融事業者は、顧客との情報の非対称性があることを踏まえ、上記原則4に示された事項のほか、金融商品・サービスの販売・推奨等に係る重要な情報を顧客が理解できるよう分かりやすく提供すべきである。
6	顧客にふさわしいサービスの提供	金融事業者は、顧客の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを把握し、当該顧客にふさわしい金融商品・サービスの組成、販売・推奨等を行うべきである。
7	従業員に対する適切な動機づけの枠組み等	金融事業者は、顧客の最善の利益を追求するための行動、顧客の公正な取扱い、利益相反の適切な管理等を促進するように設計された報酬・業績評価体系、従業員研修その他の適切な動機づけの枠組みや適切なガバナンス体制を整備すべきである。

出所：金融庁HP (https://www.fsa.go.jp/news/r6/20240926/02.pdf)

©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

〈参考〉 金融庁「プロダクトガバナンスに関する補充原則」

	補充原則
1	金融商品の組成に携わる金融事業者は、金融商品やサービスの提供を通じて、顧客に付加価値をもたらすと同時に自身の経営を持続可能なものとするために、金融商品の組成に携わる金融事業者の経営者として十分な資質を有する者のリーダーシップの下、顧客により良い金融商品を提供するための理念を明らかにし、その理念に沿ったガバナンスの構築と実践を行うべきである。
2	金融商品の組成に携わる金融事業者は、顧客により良い金融商品を提供するための理念を踏まえ、金融商品のライフサイクル全体のプロダクトガバナンスについて実効性を確保するための体制を整備すべきである。 その上で、金融商品の組成に携わる金融事業者は、金融商品の組成・提供・管理の各プロセスにおける品質管理を適切に行うとともに、これらの実効性を確保するための体制を整備すべきである。
3	金融商品の組成に携わる金融事業者は、顧客の真のニーズを想定した上で、組成する金融商品がそのニーズに最も合致するものであるかを勘案し、商品の持続可能性や金融商品としての合理性等を検証すべきである。 また、商品の複雑さやリスク等の金融商品の特性等に応じて、顧客の最善の利益を実現する観点から、販売対象として適切な想定顧客属性を特定し、金融商品の販売に携わる金融事業者において十分な理解が浸透するよう情報連携すべきである。
4	金融商品の組成に携わる金融事業者は、金融商品の組成時に想定していた商品性が確保されているかを継続的に検証し、その結果を金融商品の改善や見直しにつなげるとともに、商品組成・提供・管理のプロセスを含めたプロダクトガバナンスの体制全体の見直しにも、必要に応じて活用すべきである。また、製販全体として顧客の最善の利益を実現するため、金融商品の販売に携わる金融事業者との情報連携等により、販売対象として想定する顧客属性と実際に購入した顧客属性が合致しているか等を検証し、必要に応じて運用・商品提供の改善や、その後の金融商品の組成の改善に活かしていくべきである。
5	金融商品の組成に携わる金融事業者は、顧客がより良い金融商品を選択できるよう、顧客に対し、運用体制やプロダクトガバナンス体制等について分かりやすい情報提供を行うべきである。

出所：金融庁HP (https://www.fsa.go.jp/news/r6/20240926/02.pdf)

©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

1. お客さまのニーズ・ライフステージに寄り添った商品・サービスの提供

きらぼし銀行・UI銀行ときらぼしライフデザイン証券の連携（銀証連携）

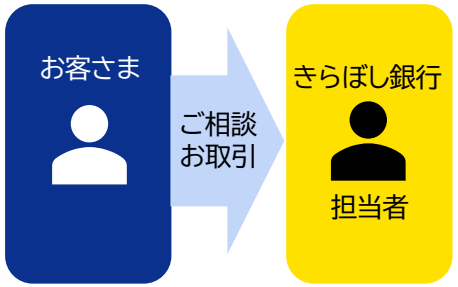
原則2・原則6

■東京きらぼしフィナンシャルグループでは、きらぼし銀行、きらぼしライフデザイン証券（以下、KLD証券）、UI銀行の3社で金融サービスを提供しております。
■金融商品仲介をプラットフォームとすることで、きらぼし銀行・UI銀行をご利用いただいているお客さまにもKLD証券の商品ラインナップのご提供を実現しております。
■きらぼし銀行・KLD証券では対面によるアドバイスを基軸としたご提案を、UI銀行ではオンラインサービスによるお取引を基軸として、お客さまのライフスタイルに合わせた資産運用ニーズにワンストップでお応えしております。

お客さまのニーズやライフスタイルに合わせた適切な金融商品サービスのご提案

きらぼし銀行とお取引のお客さま

きらぼし銀行　投資信託口座



KLD証券仲介口座



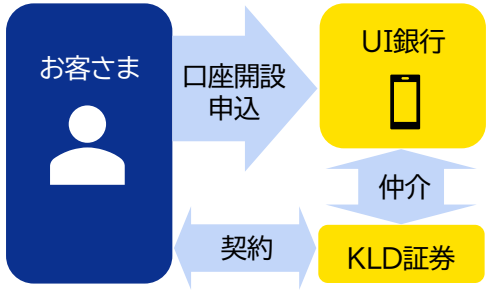
KLD証券とお取引のお客さま

KLD証券紹介口座



UI銀行とお取引のお客さま

KLD証券仲介口座



店頭窓口で資産形成のご相談をご希望のお客さまはきらぼし銀行で、より専門的なアドバイスをご希望のお客さまはKLD証券で、オンラインで完結する利便性の高いサービスをご希望のお客さまはUI銀行でのお取引をおすすめしております。

KLD証券では、きらぼし銀行・UI銀行と金融商品仲介の委託契約を締結しています。

©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

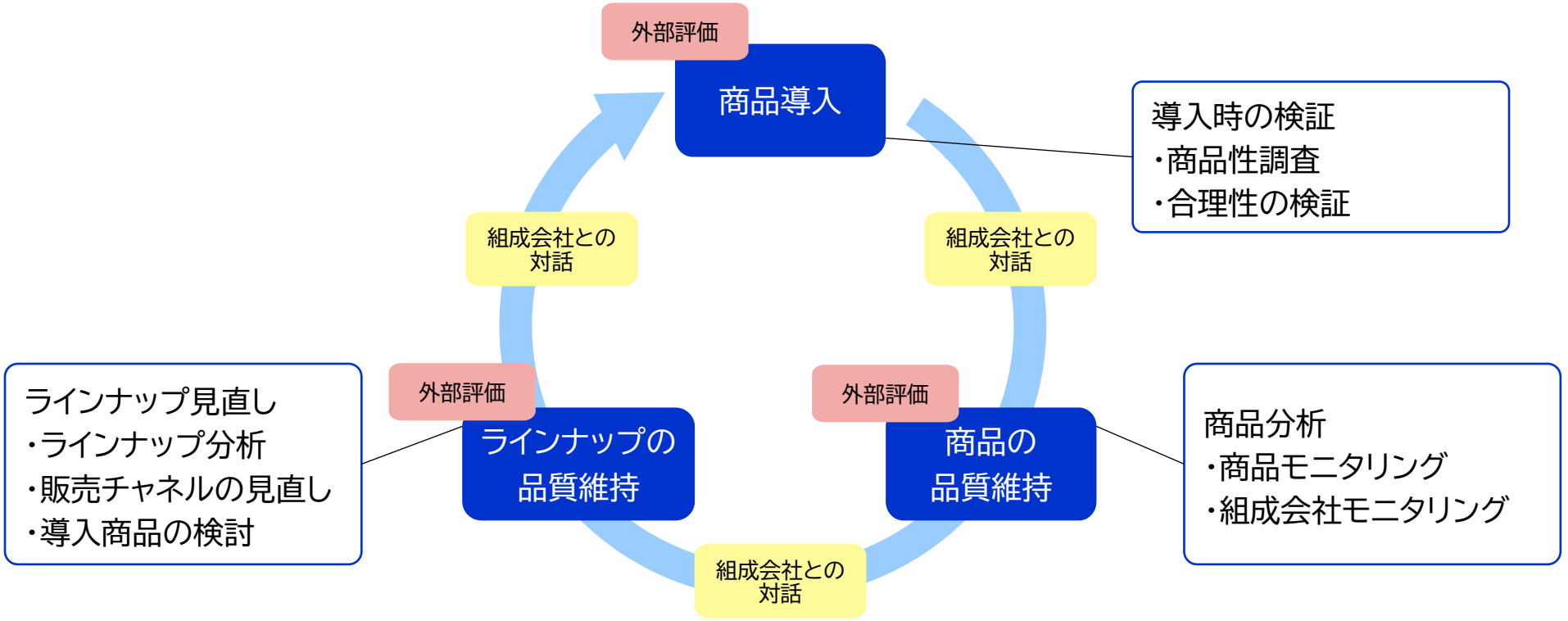
1. お客さまのニーズ・ライフステージに寄り添った商品・サービスの提供

プロダクト・ガバナンス体制の構築

原則2・原則6・補充原則

■お客さまの最善の利益の実現のため、金融商品の組成会社と連携し、プロダクト・ガバナンスに取り組んでおります。
■商品組成会社との継続的な対話やフィードバックに加え、第三者機関の外部評価も取り入れ、商品導入時・導入後の継続的なモニタリングを行うことで、お客さまにご提案できる商品やラインナップの品質維持に努めております。

プロダクト・ガバナンスサイクル



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

1. お客さまのニーズ・ライフステージに寄り添った商品・サービスの提供

ライフステージや目的に合わせた商品提案

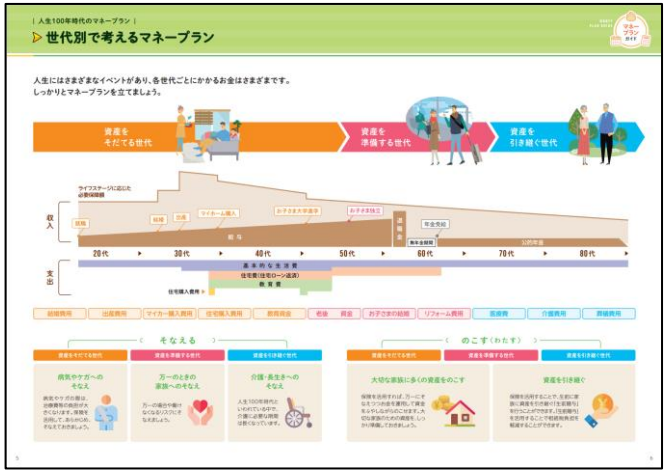
原則2・原則6

■お客さまの様々なニーズにお応えできるよう、主に「ためる」「ふやす」「のこす」「そなえる」ために必要な幅広い商品ラインナップを取り揃えております。
■お客さまとご資産全体やライフプランを共有しながら、お客さま一人ひとりに合わせたマネープランをご提案しております。

世代別で考えるマネープラン

きらぼし銀行

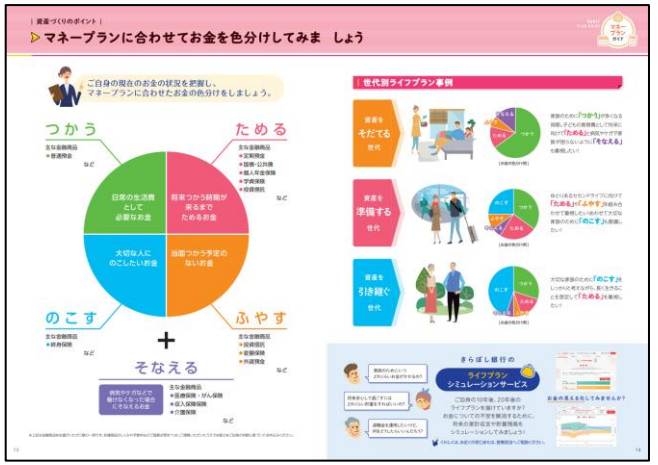
「資産をそだてる世代」「資産を準備する世代」「資産を引き継ぐ世代」の3つの世代を軸に、お客さまのライフプランに合わせたご提案を行っております。



目的に合わせた商品ラインナップ

きらぼし銀行

お客さまに合わせたマネープランのご提案のために、「お金の色分け」を実施し、ご資金の性格や目的、ご意向を踏まえ、適切な商品・サービスを提案できるラインナップを取り揃えております。



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

1. お客さまのニーズ・ライフステージに寄り添った商品・サービスの提供

お客さまへのわかりやすい情報提供

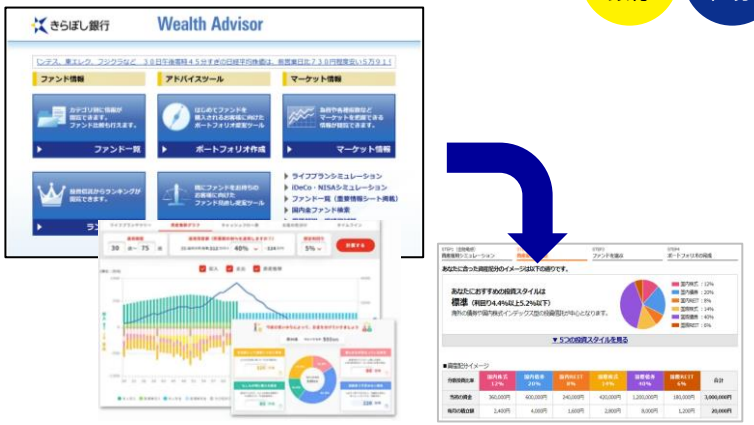
原則2・原則5・原則6

■ライフプランが多様化する中、お客さまのお悩みや知識、経験などをご一緒に共有し、各種ツールを用いて、お客さま一人ひとりに合った丁寧な情報提供・ご説明に努めております。
■サービスや金融商品の複雑性やリスク、手数料などの重要な情報について、明確でわかりやすい情報提供に努めております。

提案・情報提供ツール

お客さまの資金計画や経験、リスク許容度等をお伺いしながら、デジタルツール「Wealth Advisor」のシミュレーション機能を活用して、お客さまのマネープランを見える化・共有しております。また、ご提案の際にはパンフレットなども使い、視覚的にもわかりやすいご説明に努めております。

＜デジタルツール「Wealth Advisor」＞ きらぼし銀行 KLD証券



＜各種パンフレット（例）＞ きらぼし銀行

●マネープランのご相談



●投資信託のご相談



●ご相続に関するご相談



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

1. お客さまのニーズ・ライフステージに寄り添った商品・サービスの提供

お客さまへのわかりやすい情報提供

原則2・原則5・原則6

■「お金に関する気になること」にお客さまご自身でアクセスいただけるよう、きらぼし銀行・KLD証券・UI銀行ではホームページで情報提供を行っております。

きらぼし銀行ホームページ「ためる・ふやすナビ」

きらぼし銀行

金融商品・サービス、NISAなど制度のご案内や、資産運用に関連するコンテンツを掲載し、お客さまのライフプランサポートのための情報提供を行っております。



KLD証券ホームページ 市場レポート

KLD証券

毎月発信の「KLD Monthly Market Review」をはじめ、マーケットの状況やKLD証券による市場の見通しを適時発信しております。



UI銀行ホームページ オウンドメディア「UI未来Base」

UI銀行

従来の銀行の枠にとらわれないデジタルバンクとして、「未来の暮らしを豊かにする」をテーマに、暮らし・ビジネス・社会課題など、身近なテーマを発信しております。



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

1. お客さまのニーズ・ライフステージに寄り添った商品・サービスの提供

お客さまへのわかりやすい情報提供

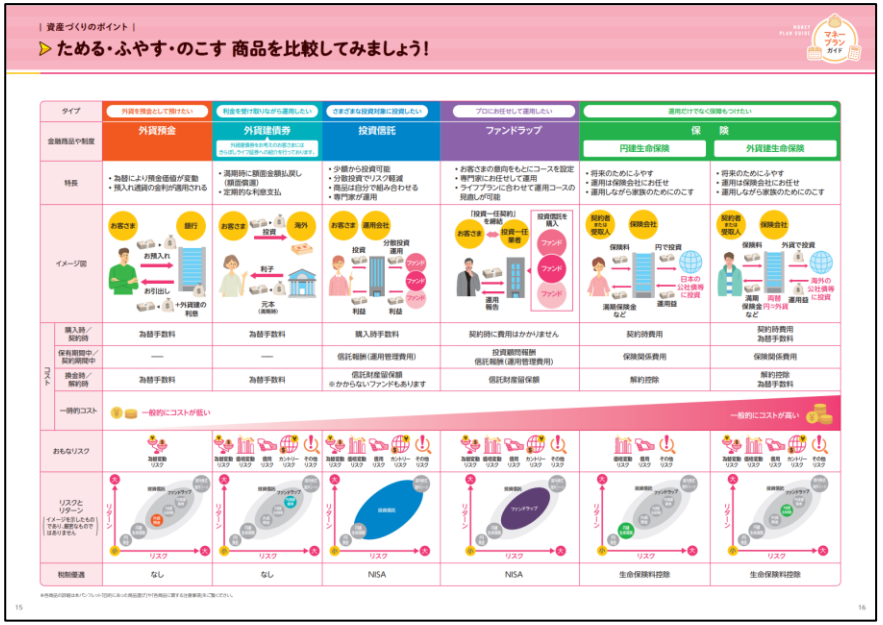
原則4・原則5

■お客さまが商品を選択・判断する上で重要な情報について、「マネープランガイド」「重要情報シート」を用いて説明することで、わかりやすい情報提供に努めております。

マネープランガイド　比較表

きらぼし銀行

お客さまが目的に合った商品を選びやすいよう、商品カテゴリーを体系的に比較することで、わかりやすくご説明しております。



重要情報シート

きらぼし銀行　KLD証券

お客さまが商品を選択・判断する上で重要な情報（商品内容、リスクと運用実績、費用、換金・解約の条件など）について、「重要情報シート」を用いてご説明することで個別商品のわかりやすい情報提供に努めております。



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

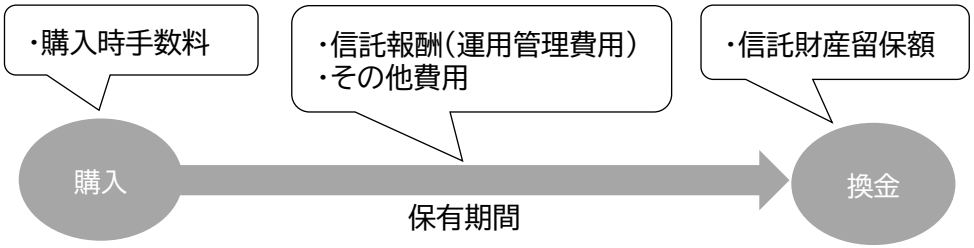
1. お客さまのニーズ・ライフステージに寄り添った商品・サービスの提供

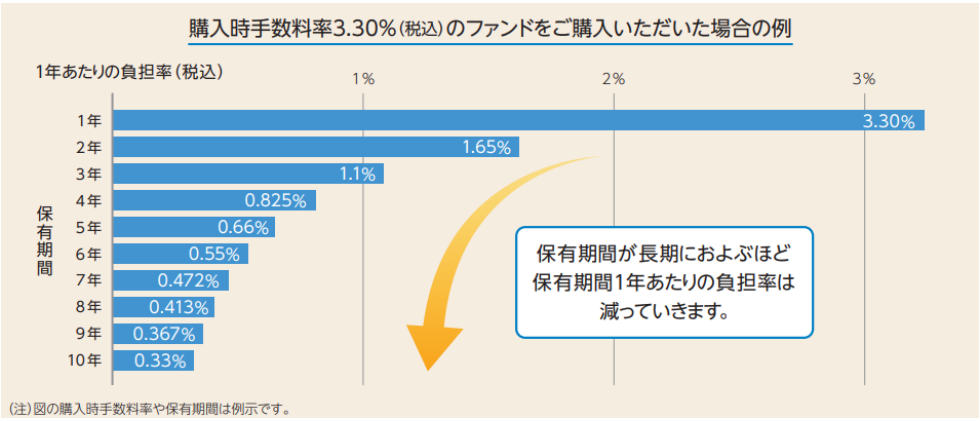
手数料の明確化

原則4・原則5

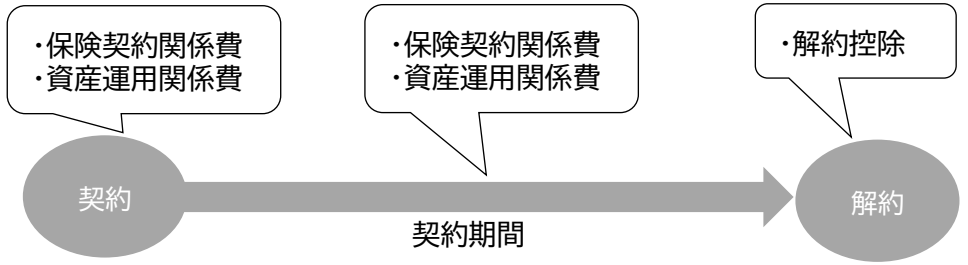
■商品をご契約・保有していただく期間に応じて各種手数料をいただく場合があります。それぞれの手数料を「何のために」ご負担いただいているのか、わかりやすく丁寧にご説明しております。
■お客さまにご負担いただく手数料に対してご満足いただけるよう、サービスの品質向上に取り組んでまいります。

投資信託の手数料

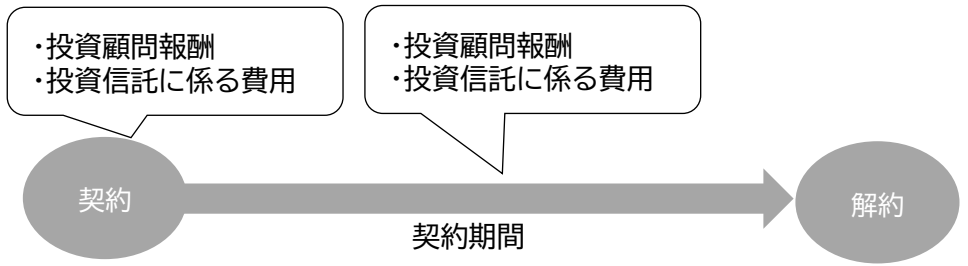




生命保険の手数料



ファンドラップの手数料



※投資顧問報酬…運用資産の時価評価額に応じてご負担いただく費用
※投資信託に係る費用…間接的にご負担いただく費用

※手数料は商品により異なります。くわしくは各商品のパンフレットなどでご確認ください。

©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

1. お客さまのニーズ・ライフステージに寄り添った商品・サービスの提供

手続き時間の短縮化・お客さまの利便性向上

原則2・原則6

■タブレット端末を活用して手続き時間を短縮し、お客さま一人ひとりの想いやご資産について丁寧にお伺いすることで、お客さまの喜びや目指すゴールの実現のためのコンサルティング営業を実践しております。
■お客さまの状況に応じてご相談やお取引方法を選択いただけるよう、「いつでも」「どこでも」「便利」にご利用いただけるようサービスの向上に努めてまいります。

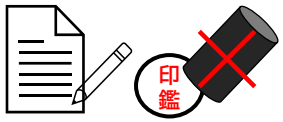
タブレット端末を活用したペーパーレス取引

きらぼし銀行　KLD証券

金融商品のお手続きの際に、タブレット端末による申込受付を行っております。



タブレット端末を活用した
豊富な情報提供



印鑑不要
お客さま記入欄の削減



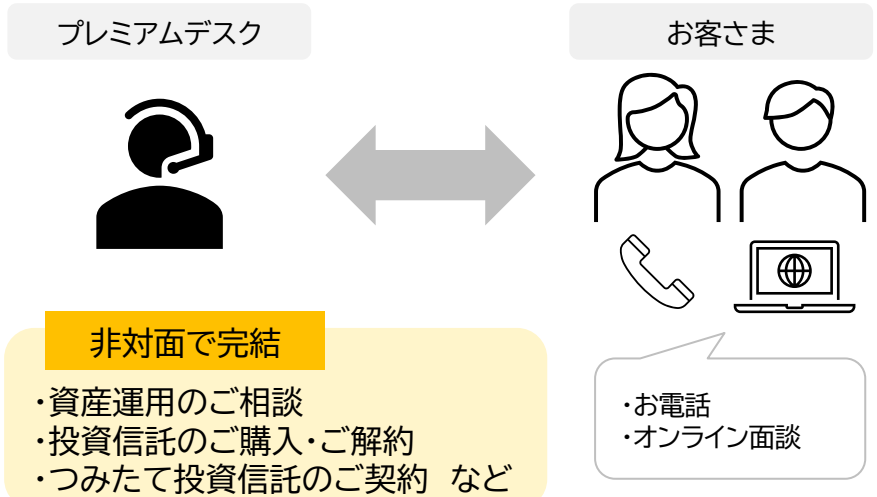
手続き時間短縮による
対話時間の確保

※一部、タブレットでは受付できないお取引がございます。

きらぼし銀行プレミアムデスク

きらぼし銀行

お客さまのご事情に合わせ、「いつでも、どこからでも」アクセス可能な存在を目指し、お電話やオンライン面談で資産運用に関するご相談にお応えしております。



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

1. お客さまのニーズ・ライフステージに寄り添った商品・サービスの提供

手続き時間の短縮化・お客さまの利便性向上

原則2・原則6

■非対面でのお取引をご希望のお客さまや平日に時間が取れないお客さまにも手軽に資産運用のお取引をしていただけるよう、投資信託口座開設申込や投資信託売買など、スマホ完結できるサービスメニューを備えております。
■初めてオンラインサービスをご利用いただくお客さまにも安心してお取引いただけるよう、アプリの操作方法を店頭窓口で丁寧にご案内しております。

オンライン完結可能な取引

スマホから投資信託口座・証券口座の開設申込が可能です。口座開設に必要な本人確認もスマホで完結可能です。
口座開設後の投資信託の売買なども、オンラインでお取引できます。

Web投資信託口座開設

きらぼし銀行



投資信託口座の開設申込がスマホ完結で手続きできます。
「きらぼしホームダイレクトアプリ」では、投資信託の売買も可能です。

きらぼしホームダイレクトアプリ

きらぼし銀行

残高照会、振込、投資信託の売買、外貨預金の口座開設や預入・払戻し等のお手続きがスマホで完結できます。



証券口座開設（KLD×UI）

KLD証券　UI銀行

スマホのUI銀行アプリからKLD証券の口座が開設できます。



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

1. お客さまのニーズ・ライフステージに寄り添った商品・サービスの提供

お客さま向けセミナー・個別相談会、金融教育講座の開催

原則2・原則6

■お客さまの資産形成において目指すゴールを共に実現するために、情報提供の一環として無料のセミナーや相談会を開催しております。
■資産形成のための金融リテラシー向上を目的とした職域セミナーや、学生向けの金融教育講座など、お客さまのお悩みやライフプランに沿ったマネープラン策定のお役に立てる情報を発信しております。

お客さまセミナー開催

きらぼし銀行　KLD証券　UI銀行

資産運用や相続に関するものなど様々なテーマで開催し、お客さまのニーズやライフプランのお役に立てる情報発信に努めております。

セミナーテーマの一例

- 人生100年時代に彩を添えて　～生命保険の活用～
- 知っておこう！相続と遺言のポイント　～円滑な承継のために～
- 備えあれば憂いなし！　～介護・認知症～
- 知りたい！NISAの魅力
- どうなる！？今後のマーケット

＜従業員さま向け職域セミナーの開催＞





個別相談会

きらぼし銀行　KLD証券　UI銀行

専門担当者による資産運用、ローン、年金に関する各種個別相談会のほか、「スマホのお困りごと個別相談会」なども開催しております。

金融教育講座

きらぼし銀行　KLD証券　UI銀行

小学校～大学まで、各年代に応じた、お金に関する体験学習や講義を実施しております。地域金融機関として、地域の未来を支える若い世代への金融教育を通じて、地域の発展に貢献してまいります。



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

1. お客さまのニーズ・ライフステージに寄り添った商品・サービスの提供

デジタルコンテンツによる商品・サービスのご提供

原則2・原則6

■「最新のデジタル体験」「ブランド情報の発信」「地域交流の促進」をコンセプトに、デジタルコンテンツで金融を身近に感じ、積極的にご活用いただける場として、「きらぼしDigitalラボ SAGAMIHARA」を開設いたしました。
■キャッシュレス納付相談会やスマホの使い方講座など、デジタルをテーマにしたイベントを開催しています。

『きらぼしDigitalラボ SAGAMIHARA』の開設

きらぼし銀行　UI銀行

お客さまご自身で画面をタッチすることで、ライフステージや資産形成のタイプに合わせたきらぼし銀行やUI銀行のサービスをご紹介する「きらぼしタッチサイネージ」、お子さまにも楽しみながらお金について学んでいただけるゲームを始めとした体験型コンテンツ、お子さま連れでも安心して滞在できるよう「キッズスペース＆授乳室」などをご用意しております。







▲【きらぼしタッチサイネージ】



▲【体験型コンテンツ】



▲【キッズスペース】

©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

2. お客さまに満足いただける商品ラインナップの整備

ラインナップの整備

原則6・補充原則

■きらぼし銀行では、「ためる」「ふやす」「のこす」「そなえる」ニーズに適した幅広い商品・サービスをご用意しております。
■KLD証券では、主に「ふやす」ニーズにお応えするファンドラップや株式・債券など、より専門的な商品・サービスをご用意しております。
■定期的な外部評価を取り入れ、商品ラインナップの品質維持・向上に努めております。

投資信託ラインナップ（2026年3月末現在）

	きらぼし銀行		KLD証券	
カテゴリ	商品数	比率	商品数	比率
国内株式	17	11%	11	8%
海外株式	54	34%	50	38%
国内債券	3	2%	2	2%
海外債券	26	17%	17	13%
国内REIT	2	1%	2	2%
海外REIT	11	7%	11	8%
バランス	34	22%	32	24%
その他資産	10	6%	6	5%
合計	**157**	100%	**131**	100%
うち ネット専用	81	52%	28	21%

保険商品ラインナップ（2026年3月末現在）

	きらぼし銀行	
機能	商品数	比率
＜ためる＞		
円建年金保険	4	44%
外貨建年金保険	5	56%
＜ふやす＞		
変額終身保険	1	100%
＜のこす＞		
円建終身保険	10	43%
外貨建終身保険	13	57%
＜そなえる＞		
医療保険	3	50%
緩和型医療保険	1	17%
がん保険	2	33%
合計	**39**	―

その他ラインナップ（KLD証券）

きらぼしラップ（ファンドラップ）	
国内株式・外国株式	国内債券・外国債券
ETF	REIT

投資信託購入時手数料が無料！

きらぼし銀行　KLD証券　UI銀行

KLD証券でお預かりしている資産残高1,000万円以上のお客さま、またはオンラインサービスでお取引のお客さまは、投資信託購入時手数料が実質無料になります。
きらぼし銀行のお客さまとUI銀行のお客さまも、金融商品仲介のお取引によりKLD証券の取扱商品をご購入いただけます。

オンラインサービスでお取引の場合
預り資産残高および購入金額にかかわらず **無料！**

対面でお取引の場合
預り資産1,000万円以上のお客さまは購入金額にかかわらず **無料！**

©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

2. お客さまに満足いただける商品ラインナップの整備

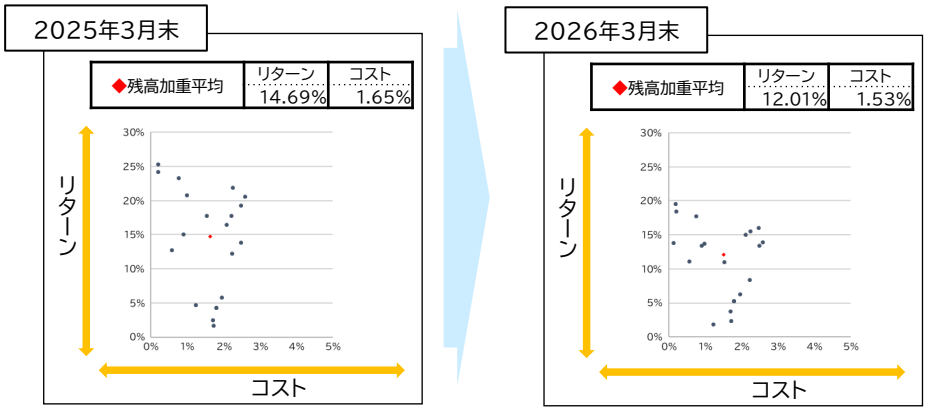
比較可能な共通KPI:【投資信託】残高上位20ファンドのコスト・リターン／リスク・リターン(きらぼし銀行)

原則6・補充原則

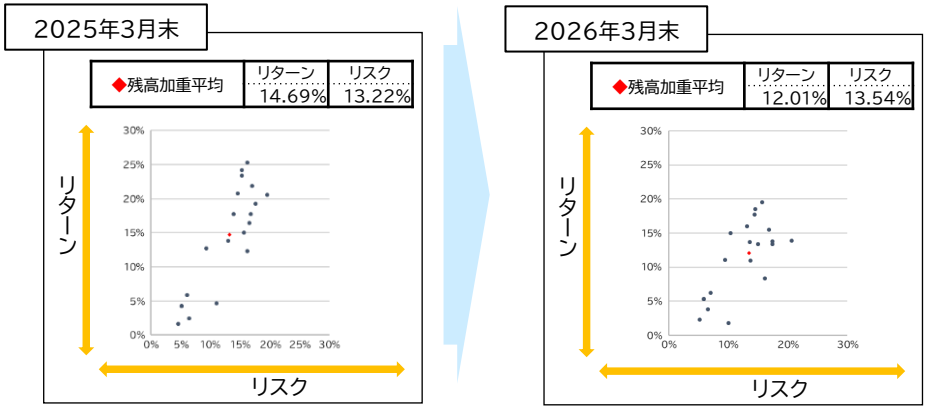
きらぼし銀行	コスト	リスク	リターン	シャープレシオ
2024年3月末	1.77%	14.74%	11.16%	0.76
2025年3月末	1.65%	13.22%	14.69%	1.11
2026年3月末	1.53%	13.54%	12.01%	0.89

順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン	シャープレシオ
1	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.6%	20.6%	13.9%	0.7
2	iFree S&P500 インデックス	0.2%	15.7%	19.5%	1.2
3	米国株式配当貴族(年4回決算型)	1.0%	13.6%	13.7%	1.0
4	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.8%	5.9%	5.3%	0.9
5	ダイワJ－REITオープン(毎月分配型)	1.2%	10.0%	1.8%	0.2
6	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2.5%	13.2%	16.0%	1.2
7	ブレンドシックス	1.7%	5.2%	2.3%	0.4
8	次世代米国代表株ファンド	2.3%	16.9%	15.5%	0.9
9	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	2.5%	15.0%	13.4%	0.9
10	セゾン・グローバルバランスファンド	0.6%	9.5%	11.0%	1.2
11	たわらノーロード 日経225	0.1%	17.5%	13.8%	0.8
12	iFree外国株式インデックス(為替ヘッジなし)	0.2%	14.5%	18.5%	1.3
13	セゾン資産形成の達人ファンド	1.5%	13.8%	11.0%	0.8
14	ファイン・ブレンド(資産成長型)	1.8%	5.9%	5.3%	0.9
15	インデックスファンド225	0.9%	17.5%	13.4%	0.8
16	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)	2.0%	7.1%	6.2%	0.9
17	外国株式インデックス・オープン	0.8%	14.5%	17.8%	1.2
18	ピクテ・ゴールデン・リスクプレミアム・ファンド	2.1%	10.4%	15.0%	1.4
19	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.7%	6.6%	3.8%	0.6
20	新光US－REITオープン	2.2%	16.2%	8.4%	0.5
	残高加重平均値	1.5%	13.54%	12.01%	0.9

コスト・リターン(きらぼし銀行)



リスク・リターン(きらぼし銀行)



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

2. お客さまに満足いただける商品ラインナップの整備

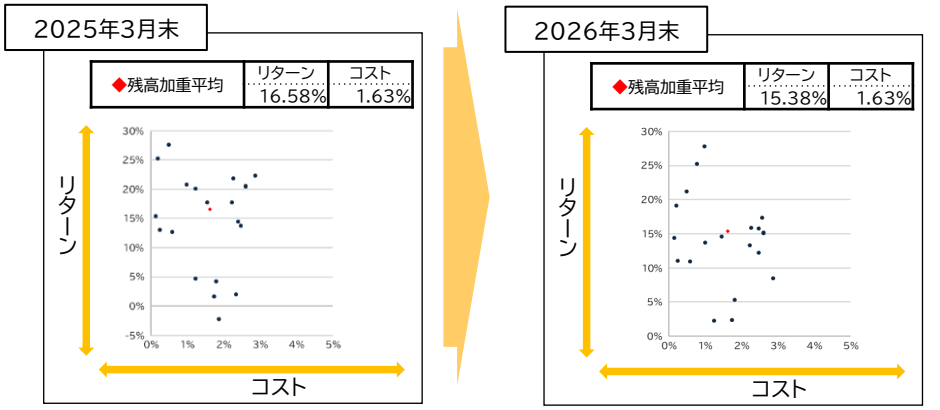
比較可能な共通KPI：【投資信託】残高上位20ファンドのコスト・リターン／リスク・リターン（KLD証券）

原則6・補充原則

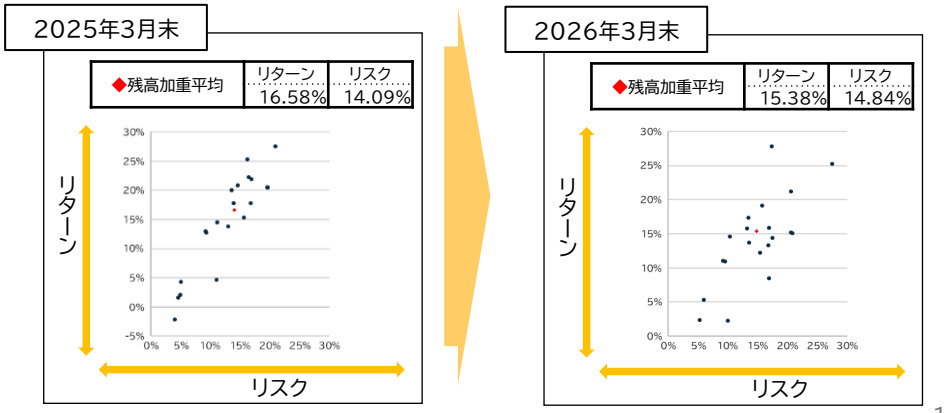
KLD証券	コスト	リスク	リターン	シャープレシオ
2024年3月末	1.61%	15.20%	13.63%	0.9
2025年3月末	1.63%	14.09%	16.58%	1.18
2026年3月末	1.63%	14.84%	15.38%	1.04

順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン	シャープレシオ
1	インベスコ　世界厳選株式オープン（為替ヘッジなし）（毎月決算型）	2.6%	13.4%	17.4%	1.3
2	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	2.6%	20.6%	15.2%	0.7
3	米国株式配当貴族（年4回決算型）	1.0%	13.6%	13.8%	1.0
4	ピクテ・ゴールデン・リスクプレミアム・ファンド	1.5%	10.4%	14.6%	1.4
5	iFree　S&P500インデックス	0.2%	15.7%	19.2%	1.2
6	次世代米国代表株ファンド	2.3%	16.9%	15.9%	0.9
7	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	1.0%	17.4%	27.8%	1.6
8	セゾン・グローバルバランスファンド	0.6%	9.5%	11.0%	1.2
9	ダイワJ－REITオープン（毎月分配型）	1.2%	10.0%	2.3%	0.2
10	たわらノーロード　日経225	0.1%	17.5%	14.5%	0.8
11	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.5%	13.2%	15.8%	1.2
12	iFreeNEXT　FANG＋インデックス	0.8%	27.4%	25.3%	0.9
13	iFreeNEXT　NASDAQ100インデックス	0.5%	20.6%	21.3%	1.0
14	ダイワ・ライフ・バランス70	0.2%	9.1%	11.0%	1.2
15	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.6%	20.8%	15.1%	0.7
16	ファイン・ブレンド（毎月分配型）	1.8%	5.9%	5.3%	0.9
17	ダイワ・US－REIT・オープン（毎月決算型）Bコース	2.2%	16.8%	13.4%	0.8
18	野村インド株投資	2.9%	16.8%	8.5%	0.5
19	スパークス・新・国際優良日本株ファンド	2.5%	15.4%	12.3%	0.8
20	ブレンドシックス	1.7%	5.2%	2.4%	0.5
	残高加重平均値	1.6%	14.8%	15.4%	1.0

コスト・リターン（KLD証券）



リスク・リターン（KLD証券）



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

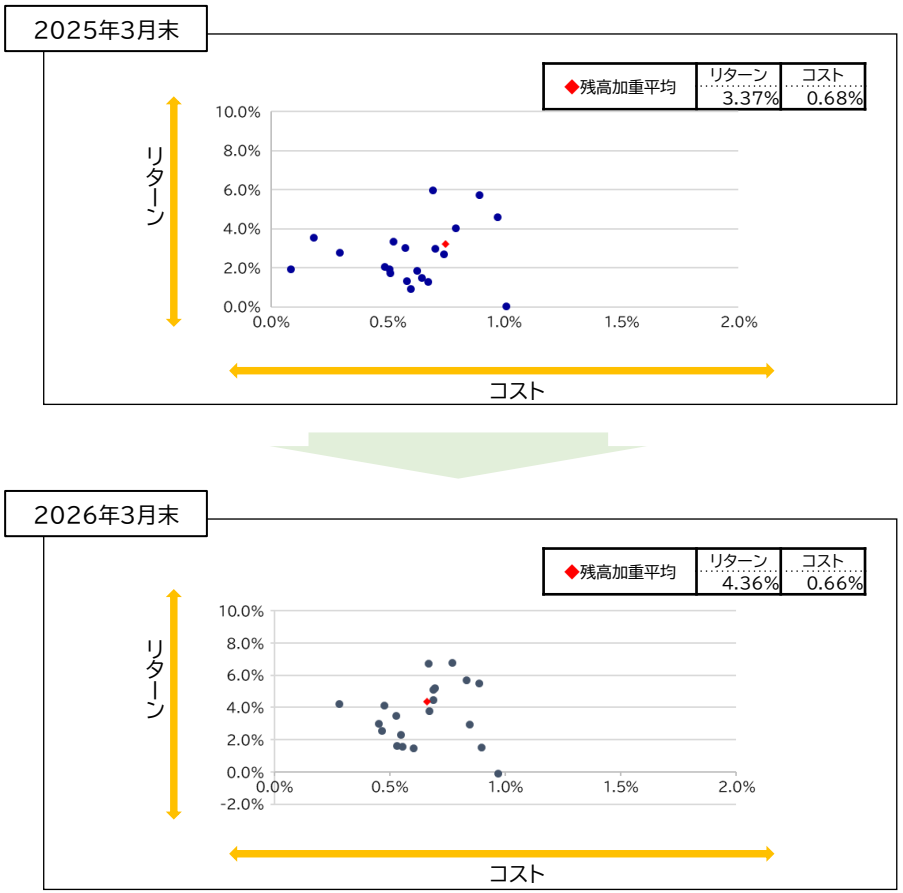
2. お客さまに満足いただける商品ラインナップの整備

比較可能な共通KPI:【保険】外貨建保険の残高上位20銘柄のコスト・リターン(きらぼし銀行)

原則6・補充原則

順位	銘柄名	コスト	リターン
1	サニーガーデンEX	0.70%	5.21%
2	サニーガーデン	0.45%	2.97%
3	ふるはーとJロードグローバル	0.69%	4.46%
4	ロングドリームGOLD2	0.77%	6.75%
5	やさしさ、つなぐ	0.47%	2.53%
6	しあわせ、ずっと	0.53%	1.61%
7	ロングドリームGOLD3	0.83%	5.71%
8	ビー ウィズ ユー プラス	0.90%	1.50%
9	ふるはーとJグローバルⅡ	0.85%	2.92%
10	たのしみ、ずっと	0.67%	3.77%
11	しあわせ、ずっと2	0.89%	5.47%
12	ビーウィズユー(豪ドル建)	0.55%	2.30%
13	生涯プレミアムワールド5	0.97%	-0.10%
14	ビーウィズユー(USドル建)	0.53%	3.50%
15	ロングドリームGOLD	0.60%	1.45%
16	外貨建・エブリバディプラス(米ドル建)	0.67%	6.74%
17	ロングドリームプラス	0.48%	4.10%
18	外貨建・エブリバディプラス(米ドル建・円建移行)	0.55%	1.58%
19	外貨建・エブリバディプラス(豪ドル建)	0.69%	5.10%
20	三大陸	0.28%	4.23%
	残高加重平均値	0.66%	4.36%

残高上位・銘柄別コスト・リターン(きらぼし銀行)



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

3. お客さまの満足度向上に向けた取組

お客さまに対する入念なアフターフォローの実施

原則6

■お客さまへ適時適切な情報の提供のために、店頭やご訪問の他、プレミアムデスクからのお電話等の方法で、定期的なアフターフォローを実施しております。
■契約内容の再確認や情報提供の他、お客さまの変化やライフプラン、資産状況を共有し、見直し等を行うことで、お客さまに合わせてフォローを含めたコンサルティングを行い、長く安心してお取引いただけるように努めております。

東京きらぼしフィナンシャルグループのアフターフォロー制度

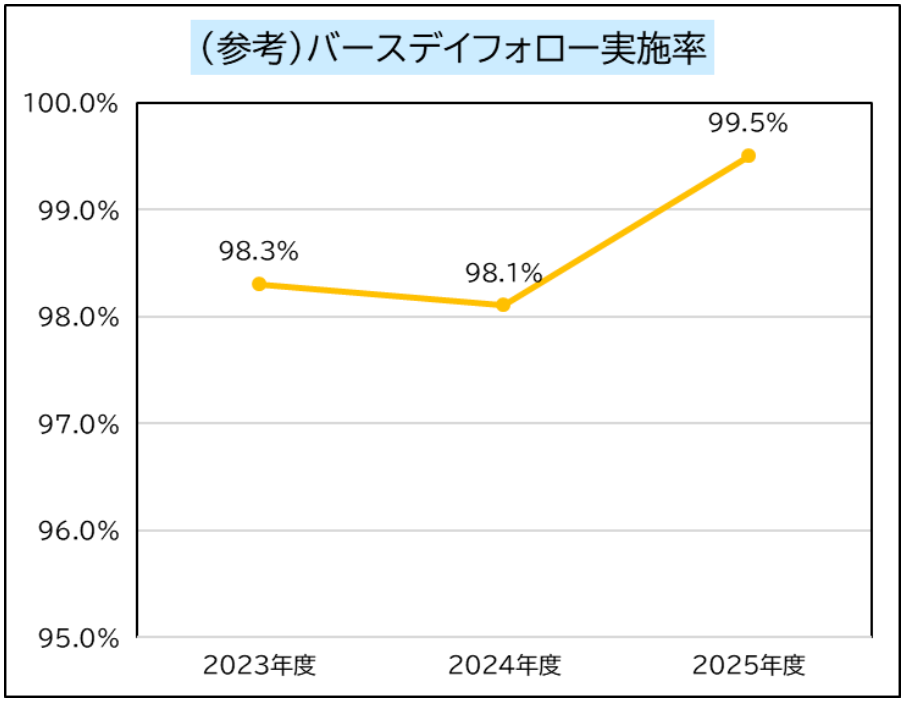
きらぼし銀行　KLD証券

定期的なフォロー：【バースデイフォロー】

投資信託をお持ちのお客さま、ファンドラップをご契約のお客さま、一時払保険をご契約のお客さまに、最低年1回、お誕生日を目安にアフターフォローを実施しています。

タイミングに応じたフォロー

相場急変時フォロー	相場のボラティリティの高まりによる価額変動が相対的に大きくなった局面では、随時臨時フォローを実施しております。
保険目標到達前フォロー	ターゲット型保険ご契約のお客さまには、目標到達が近づいたタイミングで、随時臨時フォローを実施しております。
保険サンクスフォロー	保険ご契約のお客さまには、保険証券の届くタイミングに合わせて、サンクスコールを実施しております。



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

3. お客さまの満足度向上に向けた取組

お客さまアンケート調査の実施

原則6

■お客さまからの評価やご意見を把握するために「お客さまアンケート」を実施しております。その結果を真摯に受け止め、商品・サービスの品質向上や業務フローの改善、新たな取組みに活用することで、さらなるお客さまの満足度向上を図ってまいります。

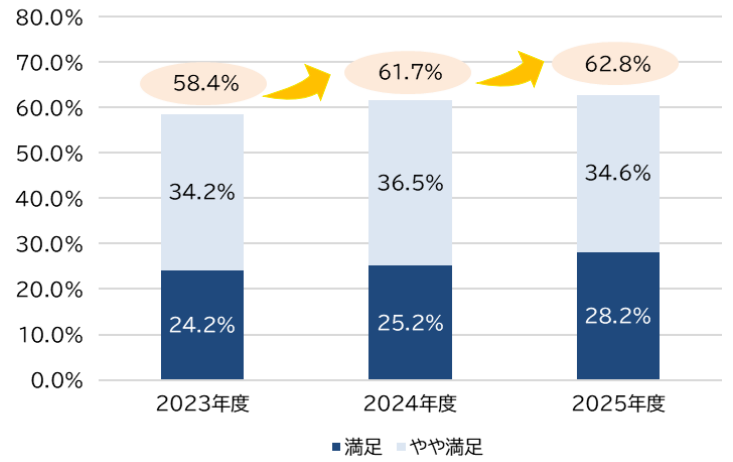
アンケート調査と商品・サービスの品質向上の流れ



調査結果

お客さまの総合満足度は、2023年度～2025年度にかけ上昇傾向にあり、特に金融商品をお持ちのお客さまや、より多くのサービスをご利用いただいているお客さまから高評価をいただきました。

お客さまアンケートで「満足」「やや満足」とご回答いただいたお客さまの割合



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

4. 最良の金融サービスの提供を意識した情報開示

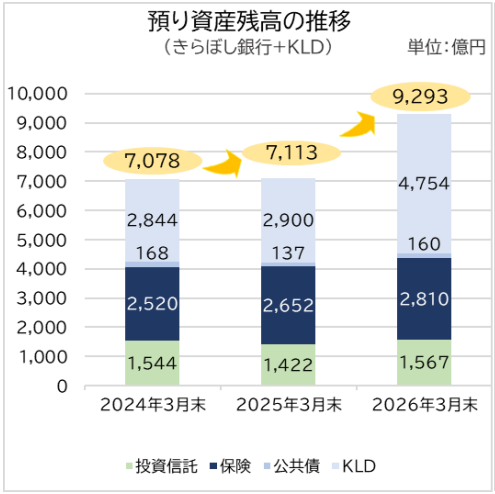
グループ会社における販売状況と利益相反の適切な管理

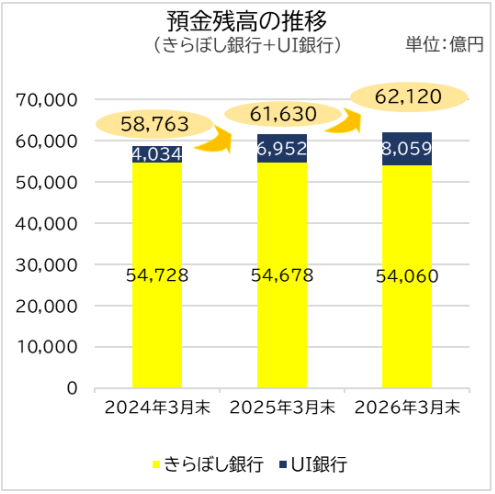
原則3

■グループ全体で、公正・誠実で質の高いサービスを提供することでお客さまの最善の利益を追求し、ブランド力向上に努めてまいります。
■導入する新商品の選定や情報提供においては、グループ運用会社（スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社）の商品や収益性にとらわれることなく、お客さまのニーズやご意向にふさわしい商品選定を行い、ご理解を得るよう努めております。

きらぼし銀行・KLD証券の預り残高推移

お客さまのご資産全体を俯瞰し、ライフプランに合わせた「中長期的な資産形成」をご提案した結果、預り資産残高は前年比＋2,180億円（G合算）、預金残高は前年比＋489億円（G合算）となりました。





グループ運用会社のファンド販売比率（スカイオーシャン・アセットマネジメント）

投資信託

2025年度における、グループ運用会社のファンド販売比率は、0.3%と、前年比 ▲0.7%となりました。
（※きらぼし銀行とKLD証券の販売合計値）

生命保険

きらぼし銀行で取扱中の「ハイブリッドあんしんライフ2」の選択可能ファンドには、グループ運用会社の商品が含まれております。
本商品の契約額に占める選択比率は、22.7%となっております。

引き続き、利益相反の適切な管理を行い、お客さまの利益を保護するとともに、お客さまからの信頼向上に努めてまいります。（グループ各社のホームページにて「利益相反管理方針」を公表しております。）

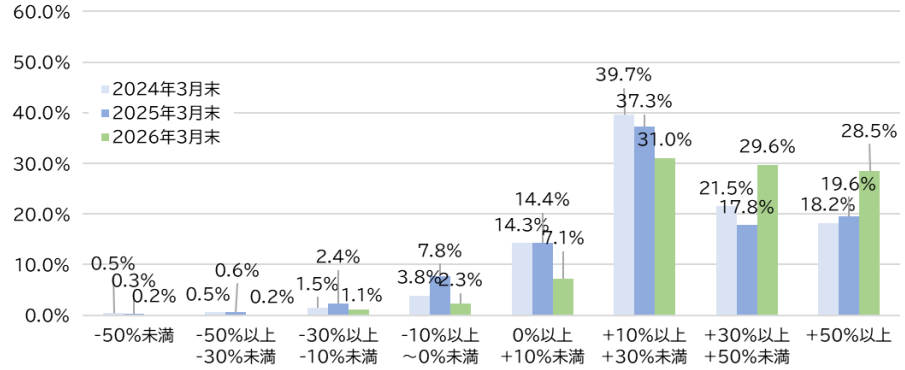
©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

4. 最良の金融サービスの提供を意識した情報開示

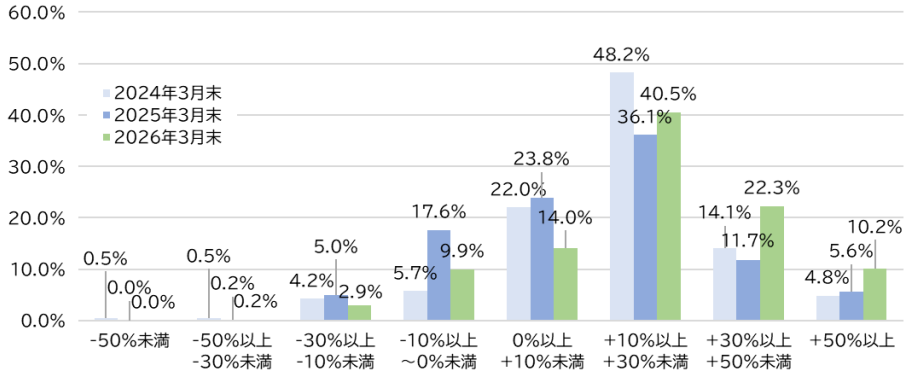
比較可能な共通KPI：運用損益別顧客比率

原則3

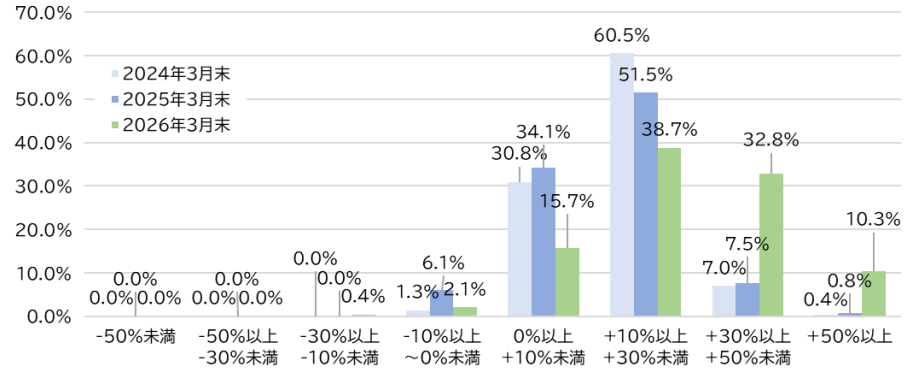
【投資信託】運用損益別顧客比率（きらぼし銀行）



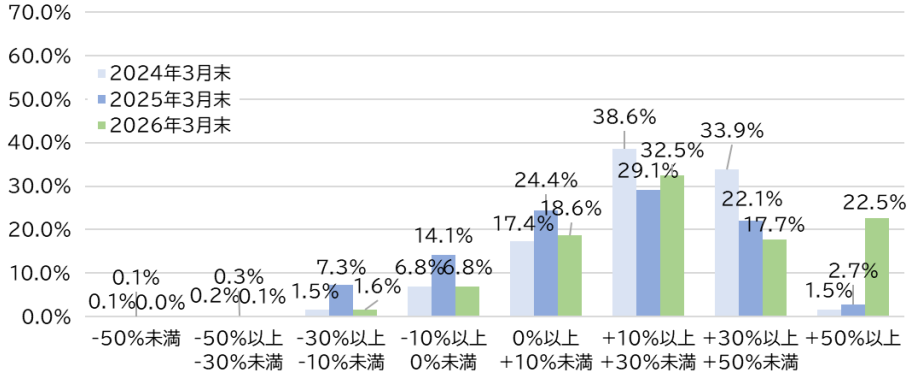
【投資信託】運用損益別顧客比率（KLD証券）



【きらぼしラップ】運用損益別顧客比率（東京きらぼしFG合算）



【外貨建保険】運用損益別顧客比率（きらぼし銀行）



【項目別】
運用損益がプラスのお客さまの割合

	投資信託（きらぼし銀行）	投資信託（KLD証券）	きらぼしラップ（東京きらぼしFG合算）	外貨建保険（きらぼし銀行）
2024年3月末	93.7%	89.1%	98.7%	91.4%
2025年3月末	89.0%	77.2%	93.9%	78.3%
2026年3月末	96.2%	87.0%	97.5%	91.4%

©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.

5. お客さま本位の業務運営の定着化を目指した企業文化の醸成

人材育成

原則2・原則7

■お客さまの資産運用の目的やニーズ・ご資産全体の状況など、お伺いしたことを起点に、金融ソリューションを中心としたコンサルティング提案を実践できるよう、研修体系を整備し、役職員の人材育成に努めております。
■きらぼし銀行では、「スキルカルテ」を活用し、各役職員の知識・スキルの見える化を行い、常に学ぶ文化の醸成とスキルアップに努めております。

コンサルティング研修

きらぼし銀行

きらぼし銀行では、コンサルティングの実践に適う体系的な研修プログラムを階層別に実施しています。個人のお客さまの様々な課題に対し、金融のプロフェッショナルとして様々な角度からアプローチできるよう知識・スキルの習得を継続してまいります。

マーケット情報や制度の勉強会

きらぼし銀行　KLD証券

マーケット情報や税知識など様々なテーマのオンラインコンテンツを配信し、役職員が自ら学ぶ姿勢を醸成しております。

「お客さま本位の業務運営」の共有

きらぼし銀行　KLD証券

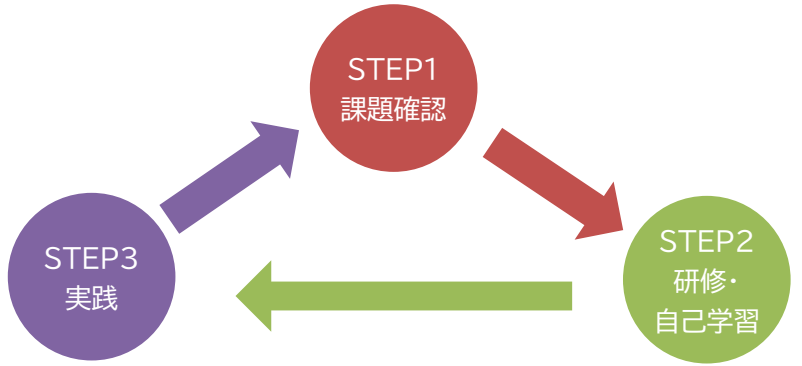
KLD証券の職員がきらぼし銀行の各支社を訪問し、お客さま本位の業務運営に関する考え方や取組みを共有し、対話を通じて現場の声を取り入れ、グループ一体での理解醸成を図っております。

「スキルカルテ」による知識・スキルの可視化

きらぼし銀行

役職員ごとの習熟度・課題を定期的に確認する取組みとして、「スキルカルテ」を用いた課題確認を実施しております。
明らかになった課題は研修で補完し、スキルの平準化と全体の底上げにつなげています。お客さまの課題や目的に沿った分かりやすいご提案ができるよう取り組んでいます。

研修・自己学習と「スキルカルテ」の運用イメージ



©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.



TOKYOに、つくそう。★

©Tokyo Kiraboshi Financial Group,inc.AllRights Reserved.